

# 令和の時代の八幡市の礎づくり



空中茶室「閑雲軒」イメージ

## 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大により、本市ではこれまでに5人の感染者が確認されました。

市民の皆様のご日常生活に不安を及ぼしていることから、早期収束に向けた取組を進めながらも日常生活等を支援する施策の展開を指示しました。新型コロナウイルスの脅威から自身や大切な人を守るため、確かな情報に触れ「正しく恐れる」とともに、市民・事業者の皆様のご不安をいち早く払拭できるように努めてまいります。



- 生活困窮者自立支援事業（住居確保給付金）（充実） 1,000万円
- 特別障害者手当等受給者への臨時給付（新規） 450万円
- 障がい者就労継続支援事業所の減収対策（新規） 150万円
- 児童扶養手当受給者への臨時給付（新規） 2,550万円
- 南ヶ丘保育園・南ヶ丘第二保育園遊戯室の空調整備（新規） 700万円
- 感染予防のための資材確保・マスク作成委託（新規） 2,500万円
- スマートウェルネシティの推進（在宅での運動支援等）（新規） 700万円
- 農業者への支援（減収対策、生産性向上）（新規） 460万円
- 中小企業者への支援（減収対策）（新規） 5,200万円
- GIGAスクール構想整備事業（新規） 6億5,000万円
- 準要保護認定者への臨時給付（新規） 3,850万円
- 特別定額給付金の給付（新規） 71億6,000万円
- 子育て世帯への臨時特別給付金の給付（新規） 9,000万円
- 休業要請対象事業者支援給付金の給付（新規） 5,400万円
- 傷病手当金の給付【国保特会】（新規） 500万円

## 「訪れてよし」のまちの創生

- お茶の京都普及啓発事業（閑雲軒VR）（新規） 200万円
- やわた流れ橋交流プラザ事業（駐車場整備）（充実） 400万円
- 里山再生事業（男山散策路整備）（新規） 143万円
- 観光振興費（やわたブランド創造、台湾・香港プロモ等）（新規） 200万円
- 科手土井線道路整備事業（歩道整備）（新規） 2,500万円
- 公園・遊園施設整備事業（さざなみ公園周辺）（新規） 1,300万円
- 京都Re-Searchプロジェクト（新規） 50万円
- 松花堂庭園交流広場等の整備（新規） 638万円



## 「住んでよし」のまちの創生

人口減少・人口構造の変化などによりもたらされる生産年齢人口の減少とそれに付随する市税の減収により、厳しい財政状況が続くことが見込まれます。

人口減少時代を背景としながらも市内に仕事の場や暮らしを楽しめる場

- 庁舎整備事業（新別館備品）（継続） 600万円
- 防犯カメラの設置（充実） 190万円
- 生活困窮者自立支援事業（アウトリーチの充実）（新規） 180万円
- 生涯学習センターふれあいホールの整備（新規） 1,580万円
- 橋本駅周辺拠点整備（用地取得、無電柱化設計等）（充実） 4億6,612万円
- 空き家等対策計画の策定（新規） 500万円
- 公営住宅管理費（一丁地団地耐震診断）（新規） 100万円



安心して暮らせる  
安全で快適な  
まちづくり

公共施設等総合管理計画につきましては、本年度に計画の見直しを実施するとともに、令和2年度から令和3年度にかけ、国が定める「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、施設単位での個別管理計画の策定に取り組みます。

防災対策につきましては、避難所での感染を予防するため、防災倉庫や資材などの整備を進めることとしております。また、浸水想定区域内に居住されている高齢者などの避難支援対策として、バス事業者と連携し、男山地区などに開設される指定緊急避難場所に避難していただく体制を構築してまいります。さらに、防災などの情

## 子どもが輝く未来の創生

- 放課後児童健全育成施設等の環境改善（防犯カメラ、建替（中央小））（新規） 300万円
- 妊産婦・母子保健指導事業（多胎健診、産後うつ予防、子はたからプロジェクト）（新規） 458万円
- 子育てにやさしいまちづくりモデル事業（新規） 4,500万円
- 中学校屋内運動場等空調設備整備（男山中、男山東中）（新規） 1億2,400万円
- 防犯カメラ（男山中、冷水器（男山中、男山二中）の設置（新規） 310万円

少子化や核家族化が確実に進む中、女性の社会進出の拡大など、子育て世代のライフスタイルが大きく変化してきています。そのような状況の中、安心して子どもを産み育てることができるよう、結婚から子育てまでの一貫したサポートを充実させてまいります。

また、社会の宝である子どもたちが、健やかに成長し、自らが「生きる力」を備えられるよう、就学前における教育・保育の一層の充実や子どもの基礎学力の定着、さらには教育環境の整備に努めるなど、引き続き学力京都府内1番を目指し取り組んでまいります。



## 人とまちの健幸の創生

本市の豊かな自然や歴史文化を活かしつつ、いつまでも「健康で「幸せ」を感じ、いきいきと輝きつづけるまちづくりを目指します。

医療等の社会保障関係経費の増大に立ち向かっていくために「人に対する健幸づくり」に取り組まながら、高齢の方々も自然とまちを出歩きたくなるような都市環境の整備とともに持続可能な財政構造とする「まちの健幸づくり」に取り組んでまいります。

誰もが健やかで幸せに暮らせるまちづくりを推進するため、「やわた

- 健康まちづくり条例」を制定し、その理念に基づき市民の皆様が健康で生き生きと暮らすことができるまちづくりを目指してまいります。また、やわた未来いきいき健幸プロジェクトを充実させていくこととしております。
- 高齢者保健事業・介護予防等一体的実施事業（新規） 99万円
- やわた未来いきいき健幸プロジェクト（体組成計）（充実） 140万円

6月5日に開会しました令和2年八幡市議会第2回定例会で、堀口市長は市政運営についての基本姿勢および取り組むべき重点施策を盛り込んだ「令和2年度施政方針」を表明しました。その主な内容を紹介します。また、施政方針の全文は市ホームページ（http://www.city.yawata.kyoto.jp/）に掲載しています。

## 国、府と連携強め取り組む 八幡市長 堀口文昭

新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、政府は4月16日に「緊急事態宣言」を全国に発令しました。その中でも京都府は「特定警戒都道府県」に位置づけられました。本年1月には「八幡市新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を設置し、京都府と連携をとりながら正確な情報把握と提供に努め、外出の自粛要請など感染拡大防止に力を注いでまいりました。

5月21日に宣言は解除されましたが、感染が再拡大するリスクもあることから判断を許さず「三密」を避けるなど、感染拡大を予防する「新しい生活様式」に努めるとともに、社会経済活動を段階的に再開していかねばなりません。また、併せて、収束後の社会経済活動の早期回復を目指すための準備を進めていかなければなりません。

さて、現在、本市の人口は減少傾向にあります。令和5年度に予定されている新名神高速道路の全線開通後のまちづくりに関し、かんよつは人口減少の抑制が期待できます。土地の利用計画を定め、これまでの人口増加に立脚して進めてきた「生活都市」、いわゆるベッドタウンと

時代の背景としながらも市内に仕事の場や暮らしを楽しめる場もある、より多機能な力を有したまちへの転換、すなわち質的変換を図るとともに、増加してきている外国人住民と共生するまちづくりが重要であります。

このように、本市を取り巻く環境は大きく変化してきています。令和の時代の八幡市の礎づくりを行ってまいります。

化により本市歳入の根幹を成す市税収入が厳しい状況になることが予測されます。しかし、三期目を迎え、国、京都府等との連携をさらに強めながら、公約実現に向け取り組んでまいります。

